

ソーシャリー・エンゲイジド・アート ダイアログ・シリーズ

アーティストは自然・環境・気候危機といかに向き合っているか？

アート&ソサイエティ研究センターは2014年以降、社会的課題に取り組むソーシャリー・エンゲイジド・アートについての調査、研究、出版、展覧会や研究会の開催、アーティスト支援やプロジェクトの実践を継続しています。今回のダイアログ・シリーズでは、自然、環境、気象変動に関心をもつアーティストが、地球環境における危急の課題にいかに向き合い、自らの創作活動との関わりをどのように捉えているか、生の声で聞き、聴講者と共にディスカッションします。

VOL.3

「氷のなかで」

登壇者：上村洋一

開催日時：2022年3月10日 [木] 18:30 ~ 20:00

定員：30名

参加費：無料

会場：ZOOMによるオンライン開催

申し込み・お問い合わせ：info@art-society.com

主催：特定非営利活動法人アート&ソサイエティ研究センター

協力：株式会社ブックエンド（環境総合誌 BIOCITY）

Socially Engaged Art Dialogue Series



上村洋一 | KAMIMURA Yoichi

1982年千葉県生まれ。聴覚と視覚の関係性のなかから風景を知覚する方法を探り、フィールドレコーディングによる環境音と、ドローイング、テキスト、光など視覚的な要素と組み合わせ、サウンド・インスタレーションや絵画作品、写真・映像作品、パフォーマンスなどを制作し国内外で発表している。近年は、自然環境と人間の感覚や記憶の関係性に関心を持って、地球温暖化で減少を続けている北海道知床のオホーツク海の流氷のリサーチを元に制作をしている。近年の展覧会 / イベントに「Yoichi Kamimura & Olli Aarni at Tempeliakirkko」（ヘルシンキ、フィンランド、2021）、「Phonurgia Nova Awards 2021」（パリ、フランス、2021）、「From Seeing to Acting」（アムステルダム、オランダ、2021）、「Exchange Residency Program 2021」（ヘルシンキ、フィンランド、2021）、「Land and Beyond」（東京、2021）、「冷たき熱帯・熱き流」（東京、2021）、「道草展：未知とともに歩む」（水戸、2020）、「Hyperthermia—温熱療法」（東京、2019）など。音響作品に「re/ports」（Ftarrri、2019）、2022年2月にイタリア・ミラノのレーベル Vertical Music から France Jobin との共作カセットアルバムをリリース予定。
<http://www.yoichikamimura.com>